

北薩感染症情報

2023年第6週(2月5日~2月11日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中

○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	58	48	6.86	↓	-	15	2	0.40	↓	-	
小児科定点	RS	-	-	-	8	2	0.50	↓	-	2	7	2.33	↗	-	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	-	-	-	→	-	3	1	0.33	↓	-	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	72	96	24.00	↗	◎	1	6	2.00	↗	-	
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	手足口病	5.0	2.0	-	1	1	0.25	→	-	1	-	-	↓	-	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	突発性発疹	-	-	-	2	1	0.25	↓	-	-	-	-	→	-	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	↓	-	-	-	-	→	-	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	1	2	2.00	↗	-	/	/	/	/	/	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-		
報告数合計		-	-	-	142	150	/	↗	/	23	16	/	↓	/	

<注意報・警報>

- ・川薩保健所管内 警報: 感染性胃腸炎
- ・出水保健所管内 なし

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 百日咳1件

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				49W	50W	51W	52W	1W	2W	3W	4W	5W	6W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	-	0.29	-	0.29	5.00	8.29	8.14	3.14	8.29	6.86
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	-	0.25	0.50	0.25	-	1.25	2.50	2.25	2.00	0.50
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.50	-	-	-	0.25	-	0.25	0.25	-	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	0.25	-	0.25	-	-	-	0.50	-	-	-
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	1.25	2.50	2.50	2.75	3.25	4.75	13.50	18.75	18.00	24.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	手足口病	5.00/2.00	-	0.25	-	-	-	-	-	0.25	0.50	0.25	0.25
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発疹	-	-	0.25	-	-	-	-	0.50	1.00	-	0.50	0.25
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.25	0.25	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	2.00	-	2.00	2.00	-	-	1.00	1.00	1.00	2.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				49W	50W	51W	52W	1W	2W	3W	4W	5W	6W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	-	-	-	1.40	4.80	17.40	16.00	4.40	3.00	0.40
小児科定点	RSウイルス感染症	-	-	3.67	1.67	1.33	1.00	-	0.33	0.33	0.33	0.67	2.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	-	-	-	0.33	-	-	1.33	0.67	1.00	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	-	-	-	0.67	0.33	-	-	-	0.33	-
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	0.33	0.33	0.67	0.67	1.00	2.67	1.33	0.33	0.33	2.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	-	-	-	0.33	-	0.67	-	-	-	-
	手足口病	5.00/2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-
	伝染性紅斑	2.00/1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	突発性発疹	-	-	0.33	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

★第6週に関しては、川薩地区が感染性胃腸炎の警報域に達しています。冬はノロウイルスの流行も考えられますので、手洗いをいつもに増して心がけましょう。また、厚生労働省のホームページ等でも「感染性胃腸炎」や「ノロウイルス」に関する予防情報等が掲載されていますので、参考にしてください。

★新型コロナウイルスに関する参考資料

新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！

POINT！

三つの「黙」

- 1 食事の時は距離を保って黙って食べる
(会話は食事後，マスクを着けて) **黙食**
- 2 職員は休憩，更衣時でもマスク着用，
喫煙所では話さない(徹底してください) **黙煙**
- 3 脱衣所では距離を保って黙って入浴
(職員は目の保護とマスクの着用) **黙浴**

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！ (3ない運動)

持ち込まない

利用者

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

- 通所サービスは，体調が悪い時は利用を控えよう
- 家族の体調や，県外との往来にも気をつけよう

持ち込ませない

施設

- 体調の悪い職員は必ず休ませよう
- 体調の悪い入所者・職員は，早めに医師に相談を
- 面会はリモートで
- 感染リスクが高まる「5つの場面」を避けよう

【感染リスクが高まる5つの場面】

- ① 飲食を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり

拡げない

施設

- 食事の時は，距離を保って，黙って食べよう
- 職員は休憩，更衣時でもマスク着用，喫煙スペースでも会話を控えよう
- 脱衣所では，距離を保って話さない，入浴介助も会話を控えよう
- 職員はマスク着用を徹底しよう(利用者さんにも協力を)

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に居酒屋などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、口し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 赤の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の配りや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

